

ニンテダニブと間質性肺炎（呼吸器内科）

臨床研究の名称	間質性肺炎に対してニンテダニブ投与例の臨床学的後方視的検討
研究責任者の所属・氏名	呼吸器内科 医師 山川 英晃
研究の概要	【目的】 間質性肺炎は特発性、膠原病性、過敏性肺炎など多彩な原因により起こりうる疾患ですが、いかなる理由においても慢性進行性の経過を示し、そういった方は予後不良の転帰をたどります。近年、抗線維化薬といわれるニンテダニブ（オフェブ）という薬がこのような慢性進行性の間質性肺炎に対して疾患進行の抑制を示す臨床試験の結果が出て、本邦においても同薬が多く使用されるようになりました。この薬はまだ使用例が非常に多いとはいえないため、当院で使用されている患者様の実情を確認することで、このニンテダニブ（オフェブ）を使用されている患者様の特徴や、同薬を使用する際の注意点を明らかにすることを目的として後方視的に検討します。 【対象患者】 当院において 2018 年 1 月 1 日から 2023 年 4 月 31 日までに間質性肺炎に対してニンテダニブ（オフェブ）の投与を受けられた患者様。 【研究期間】 臨床倫理委員会承認後から 2026 年 3 月 31 日まで 【方法】 間質性肺炎の診断時の身長・体重や検査値・画像および臨床経過を調べ、適切な解析手法により検討する。 【使用する情報】 年齢・性別・検査結果（血液・呼吸機能・画像）・身長・体重・臨床経過 【個人情報の取り扱い】 本研究で取り扱うすべての臨床情報は名前や住所など患者様個人を特定できる情報を除き、院外へ持ち出すことはなく管理するため情報が外に漏れることはありません。また研究結果を学会や論文などで報告する場合も、報告内容に個人を特定できる情報は一切含みません。もし患者様より情報提供を拒否する申し出があった場合は速やかに研究利用対象からはずさせていただきます。ただし研究結果を報告した後の申し出については対応しかねる場合があります。
問い合わせ先	呼吸器内科 医師 山川 英晃 〒330-8553 埼玉県さいたま市中央区新都心 1 番地 5 さいたま赤十字病院 電話番号 048-852-1111（代表）